

磐城日日新聞

發行所 磐城日日新聞社
印刷所 磐城日日新聞社
電話 五五五
代價 一月 金五拾錢

言論

鐵 劍

石城水泳競技大會に際しては、平町青年會長大森勇氏並に幹部諸君の熱心なる努力によりて無事完了することを得たるは實に感謝に堪えない、各社記者諸氏の遠路にも拘はらず出動され、諸般の準備に、競技に關しての審判その他に御援助を辱のうしたるは、重ね々、本社の欣快とする所である、加ふるに小名濱消防組頭小野晋平氏、副組頭立花典次郎氏が幹部小頭諸君と共に一段の活躍をなして、この水泳大會その者に大過なきを得たるは、偏に各方面の御同情と御助力によること、深く感謝を重ね、御厚誼を新らしうするものである、今日までの石城郡中はこの種の大會を開催されたことがなかつた、随つて本社の設備その他事項に就いて、選手諸君に御満足と與へることが出来なかつた點は幾重にも陳謝するが、亦選手諸君もこの意を體して本社の遺憾とする點を御諒察下さることを思ふ、然して一層の奮起と努力とをうけて來年の夏季大會には、本年よりも更に一段の進境ある技量

を示して、優秀なる成績を挙げ、新日本建設の一大要素たる體育保全の上に一助ともなるやうに希望するものである、短距離五十米突、百米突、二百米突の競泳には可成りな成績であつたが、長距離一哩遠泳には前途遠しの感を抱持させられた、然し、それは絶望を意味するものではないから奮然として不斷の練習をつづけ、規則正しい訓練化されてその上に、武士道精神を加味し、孜孜として苦闘するならば必ずや、來るべき大會に於てより立派な實績を挙げ得ること、深く信じて疑はない、諸君の健全なる發達を希望すると共に自重を祈る者である

水泳競技大會

觀衆無慮數萬

盛會裡に散會

いはい新報社並に本社の合同主催小名濱消防組後援である石城水泳競技大會は昨十九日水清む小名濱築港内に於て開かれた二日前から疑問の天候も此日はガラリと晴れて心地良き水泳の好日和であつた之れより先き小名濱消防組には組頭小野晋平副組頭立花典次郎の諸氏を首として各幹部總出となり築港事務所にては美濃所長以下並に水産試験場の各位が種々斡旋盡力によつて準備は遺憾なく整へられた先づ特設バラックには小國旗を張り、競技場にはモニターボート、千代丸かもめの小漁船を首にして警護の小船十數隻を浮べ洋々乎として清く澄む海の色は今日の選手を迎ふるが如く飽くまで平和であつた佐瀨大會長代理大越那視學副會長大森勇氏を始め

々道路の修繕等をなし津島村に於ては昨十六日在郷軍人分會長村役場吏員小學校長青年團等相謀り歓迎方に付協議夫加し來る由

々準備をなしたり因に行軍中に浪江町より一年志願兵として在營せる大井不二夫氏も參加し來る由

四十餘名の清遊團體や折柄來濱中の自治講習會員その他各町村より集まつた觀衆によつて小名濱町は非常の賑を呈したが優勝者は左の通りである

▲五〇米優勝(第一回) 久吾(三等) 静岡一秋(四等) 鈴木福太郎(五等) 佐分利丙午

▲同(第二回) (一等)吉田寛(二等)櫻井龜三郎(三等)三田清(四等)田口良平(五等)高橋新

▲一〇〇米優勝 (一等)吉田寛(二等)富來高治(三等)古川勝夫(四等)櫻井龜三郎(五等)志賀次郎

平俱樂部捷つ

平俱樂部遠征團は十八日郡山セントラル俱樂部と對戦遠征第一日に於て早敵を呑み優退二組を出して大捷した

不潔のたたり?

双葉郡浪江町大字川添字藏西卅六番地齋藤ユキ(三)は去る十日頃より床に就き發熱志賀醫師診断の結果チブスと判明し隔離病者に收容されたが日頃該家屋内外を不潔になし居りしたため前記の始末で發病したではないかと

筆洗ふ前に

絢爛たる文化生活なるものが凡てを具備し、凡てを整理して餘りあるけれど、一ツ氣に入らない事がある、それは人間といふものの中に、意氣が喪失したことである、何者にも優りて貴しとする所の意氣がないことは、悲しむべきことである、殊に男兒の鐵腸は意氣である、意氣その者が鐵腸であるのだ、妥協すること、甘い世渡りの爲めに何者をも提供し、亦自己破壊までしなければならぬことは、苦痛よりも侮辱であるのに世間人は平氣である人間として一切の者を備ふる貴人とも意氣なくんば人間としての人間味が無い、匂ひがない、價値がない、民族性の威大な美しい價値はこの意氣であるのである。

好問校同窓會

好問校第一小學校第十八回同窓會は去る十八日午前十時から同校講堂に於て開催したが出席者二百餘名會長開會の辭を述べ會務の報告役員の改選等に次で會員の演説あり後い

自動機客車の運轉

平、綴、湯本間の軌道をガソリン動力に改善し過般來軌道改修工事進行中の處此程漸く竣成し愈々去る十六日より自動機客車を以つて運轉開始した

縣立蠶校生徒募集

本縣立蠶業學校專科第一科生(修業年限六ヶ月)此十月入學せしむべき生徒七十名を募集するが試験は九月廿六七の兩日で願書は九月廿日までに提出する事なりと

紫雲英病害豫防講演會

昨十九日午後三時から石城郡役所會議室に於て農商務省植物検査官片山秀太郎氏を聘し紫雲英病害豫防講演會を開催

鯉たより

小名濱水産試験場十九日の鯉漁況速報によれば請戸海岸にては同港沖合六十哩の處に漁船三隻出漁して千十尾千一圓久之濱にては同港沖合八十五

好問校同窓會

好問校第一小學校第十八回同窓會は去る十八日午前十時から同校講堂に於て開催したが出席者二百餘名會長開會の辭を述べ會務の報告役員の改選等に次で會員の演説あり後い

大丈夫の出現

山田 綠 雨

五尺短身一竹節
千山萬水去無跡
平生心事求何處
在寄芙蓉第一峯

是れは維新の志士、横井小楠先生の詩である。

流石は大丈夫の心事を語つた、氣持のよい、サツパリした男子の眞骨頂を表現した名詩である。

大丈夫、小楠を思慕する毎に大西郷、木戸、大久保、勝等といふ國士の面影を思はざるを得ない。

志士の活躍は繪巻物語りの様に詩美的であつた、戯曲的で又ローマンチックなものであつた。恰もカライルのフランス革命史中の人物の様に彼等は大感激に倒れやうとする熱血熱涙の意氣があつた

コレコレした現實の利害得失を超越して、大死一番、生死關頭に直立して、ビクともせぬ大信念、大覺悟があつた

翻つて現代はドウカ？、小刀細工をする小才子風の青年や、見えずえた術策を弄する小策士や、文化中毒の新人や西洋奴隷の學者や、イヤに取りました偽善者や、愛慾萬能の變態性の人間や、斯うした人々がゴタ／＼コレ／＼して、慾深の富豪と老積なる政治家!!!即ち金と權力に引きずられて生きて行く。

清新潑瀾、生々躍動する痛快なる運動なく、人心益頹廢

靡爛し、思想愈渾沌、支離滅裂收拾する事の出来ない邪惡なる時代相を現し來つた。

斯る秋男子の眞骨頂を持つた維新當時の大丈夫の出現を望んでやまぬ。身は地下三尺にありと高吟して國家の大事に任じた大丈夫は、元老にも富豪にも、黨人にも、又學究青年にも見當らない。

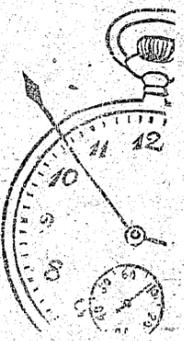
大丈夫出現!!!獨り日本のみの要求ではナイ、全人類の叫びである。(終り)

◆日以案内◆

普通一回金五十錢 二回金九十錢
三回金一圓 四回金一圓四十錢
五回以上一回金三十錢 (料金前金)
(姓名在社十錢増)

求妻

知人年三十歳俸給百圓温良な婦人を求む再婚にてもよろし姓名在社



坂 安ク
上 時 良ク
銀メ 計 早ク
附ガ 店
屬ネ 停車場通り

御婦人化粧品
家庭日用品
流行帽子小間物
菓實玩具品
モオ高
ヤチ商木
店商木高
町仲倉四

料理は醬油
醬油はヤマフル

美味... 經濟

品質優良
瓜掛 鼻緒 製造 販賣

松本商店
平町壹丁目南川岸通

元造 鹽
店本屋鹽
番七二話電

西洋料理 御定食
金五十錢
平驛前通
日乃出屋
電話四四番

ひやむぎ
ざるそば
期節向

海海
濱名小は海
館盛錦
電話四番

謹告
亡長男保、二男博 新益に相當り候處誠に勝手ながら提灯等の御寄贈は御辭退申上度此段謹告候也
大正十二年舊七月 平町田町
小笠原國太郎

謹告
亡妻ノブ 新益に相當り候處誠に勝手ながら提灯等の御寄贈は御辭退申上度此段謹告候也
大正十二年舊七月 平町田町
棕木 二郎

謹告
亡五女ヤイ子新益に相當り候處誠に勝手ながら提灯等の御寄贈は御辭退申上度此段謹告候也
大正十二年舊七月
平町田町
佐藤 久吾

開業披露
診療科目
内科 外科 産婦人科 泌尿科 耳鼻科 皮膚科 光線科

丹羽病院繼承
新妻醫院
慈惠醫學士
院主 新妻由五郎
電話百二十九番

親切本位
御料理
歌川
平新田町

新益用の提灯は!
安く良く珍柄の多い
スガノヤ提灯店へ!!!
御戒名入 御紋附弓張
こんばんは 岐卓 提灯
確かに安く御用命に應じます
平町四丁目
スガノヤ提灯店

開業披露
文化的食堂の魁
衛生に風雅に全く完備
西洋料理、和食調理
愈々八月八日より開業致候御間
愛顧の程祈り上げます

誠 金
前驛倉四

開業披露
生そばうんごん 調理
開業仕り候間多少にかかはらず御用命被下度お願ひ申上ます
四倉仲町
越中屋

亞鉛引平板
水火も恐れぬ
日光印を御用使下さい
曲げて折れず容易に錆びぬ
最高の品質は絶対保證
最低の價格は東洋第一

日本亞鉛鍍金株式會社
優製品縣下特約發賣元
釜屋商店
電話九番、一三九番
振替東京一〇九五六番